

岩橋山

【葛城第二十四経塚(平石峠)】
【葛城第二十五経塚(高貴寺香華畑)】

行場の巨岩群が見どころ 名石コースをたどって 岩橋山に登る

岩橋山は、山頂だけ見ればダイヤモンドトレールの通過点に過ぎないように見えるが、その西側斜面には奇岩がいくつもあり、葛城修験の行場となっている。平石バス停から、道標にしたがい名石コース(Bコース)を目指す。道標は岩橋峠の表示になっているが、バス道を左に外れ、川沿いに行くと、数々の名石とともに岩橋山が表示されている。棚田の奥が登山口だ。登山道はしばらく川沿いに続くが、川を渡ると急登となる。ひと踏ん張りすると登山道脇に人面石があり、銅釜石へはその上部で左に登山道を外れる。次の鉾立石は右に外れたところに屹立し、基部に碑伝が置かれている。登山道をさらに登ると、左に胎内くぐりへの道が派生する。山腹を進んだ後、大きく下らなければならないが、行場のひとつなので立ち寄りた。胎内くぐりから登り返して登山道に戻り、道が緩やかになると、久米の岩橋がある。人面石以外は江戸時代の『河内名所図会』にも描かれており、昔から知られていたことがわかる。

岩橋からダイヤモンドトレールはすぐで、左に一投足で岩橋山山頂に着く。ダイヤモンドトレールをそのまま北へ下り続けると平石峠に下り着き、第二十四経塚がある。平石峠からは西へ下っていく。国定公園の碑があるところで、右に折れて、第二十五経塚のある高貴寺へ。経塚は本堂の奥にあり、立ち入れないので、本堂に手を合わせる。高貴寺からは山腹の道で磐船神社へ。斜面にある巨岩が祀られている。

帰りは、神社の鳥居を出て右の山道を下り、道路に出て左に下ったらず右にある平石城跡への登山道に取り付く。興味があれば平石城跡を見学して、道標にしたがいつつ、近つ飛鳥風土記の丘を目指す。

歩行距離 ◆ 約9km
歩行時間 ◆ 3時間55分

体力レベル ★★
登山レベル ★★



コース情報



胎内くぐりや久米の岩橋など、奇岩をつなぐ



高貴寺本堂。経塚は左手奥にあるが無断立入禁止



トレールの通過点のような岩橋山の山頂の広場



岩橋山を背にして近つ飛鳥風土記の丘に向かう

アクセス



アドバイス

全般に登山道を歩くので、足元はトレッキングシューズで。道標もよく整備されているので、迷うところはないが、高貴寺から磐船神社へは山腹の水平道を行くので念頭に。時間が合えば、磐船神社参拝後、平石バス停から帰途に就いてもよいが、便数が極端に少ない。行きの便も調べておくこと。

※実際の修行の道とは異なります。

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。